

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

KAWANISHI2030の実現に向け、次世代型物流施設、ASEAN投資、組織再構築を推進し、飛躍的な発展を目指す。

連結営業収益
300億円

連結営業利益
15億円

配当性向目標
35%

② 中長期の経営戦略

1. 次世代型物流施設の推進

DXを通じた従来のビジネスモデルに捉われない物流施設の計画推進。基幹システム再構築と地球環境への配慮を含む。

3. リコンストラクション推進

拠点・組織の再構築を通じ、ペーパーレス化、RPA導入、ダイバーシティ対応、人財戦略強化を実行。

2. ASEAN投資の推進

インドネシア等での倉庫事業を足掛かりに、国際物流事業の拡充と海上輸送等の強化に注力。

4. 既存事業の拡大強化

物流拠点の機能拡充、運送部門強化、メーカー物流強化、通関体制強化により収益拡大と利益率向上を図る。

③ 対処すべき課題

① 成長投資と財務基盤強化

- ・ 次世代型物流施設によるDX推進の加速
- ・ ASEAN地域への投資検討と国際物流事業拡充
- ・ 中長期的な資本効率最適化と株主還元の両立

② 社内体制の強化

- ・ 事業ポートフォリオ見直しと拠点組織再構築
- ・ 労働力不足対応のペーパーレス化とRPA導入
- ・ ダイバーシティ対応と社内教育体制の充実

③ 既存事業の効率化と拡大

- ・ DX活用による物流業務の革新と効率化
- ・ 運送部門強化による収益拡大と利益率向上
- ・ ASEAN物流拡大を起点とした海上輸送強化

面接で使えるポイント

- ・ 次世代型物流施設とDX推進により、労働力不足や環境課題に対応した物流革新を目指す企業。
- ・ ASEAN投資とM&Aを通じた国際展開により、2027年度に営業収益300億円、営業利益15億円達成を掲げる。
- ・ 配当性向35%と日本版ESOP導入により、株主還元と社員の企業価値参加を同時実現する方針。

証券コード 9322

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

神戸市に本社を置く物流企業で、親会社所有者帰属
当期純利益7億円

主力事業・セグメント

- ・国内物流 82.6%
- ・海外物流 17.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
264億円営業利益率
4.2%財務健康度
38点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 47.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収

636万円

倉庫・運輸関連業内 16位/31社

平均年齢

39.5歳

倉庫・運輸関連業内 27位/31社

平均勤続

15.4年

倉庫・運輸関連業内 19位/31社

女性管理職

10.5%

倉庫・運輸関連業内 11位/26社

男性育休

50.0%

倉庫・運輸関連業内 17位/24社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 川西倉庫(株)【9322】：決算情報

